

## 1. SPARJ会 法人会員および SPAR2025J 第21回3次元計測フォーラム出展スポンサー募集

これまでスポンサー様としてご支援いただいていた「SparJ 支援会」は廃止し、年間を通しての交流を中心とした活動の場「SPARJ会」法人会員制度を設置します。

### 1) SPARJ会 法人会員

(1) 年会費 20万円（税抜き） 期間：2025年4月～2026年3月末

#### (2) 会員特典

- a. テーマ毎に焦点をしぼった意見交換、人脈形成 SparPlaza の場に参加し、サービスのアピール
- b. ユーザの抱える、特定のテーマについての要望や課題などの生の声が得られる。
- c. SPARJ ホームページおよびメールマガジンに、広告掲載
- d. 新商品・サービス・イベントの各種広告宣伝活動支援
- e. 原則毎週発行の、海外ニュース SparView の無料購読 同一事業所内の方も無料  
(SparView 購読は、有料会員制になります)
- f. SPAR2025J 3次元計測フォーラムに出展スポンサーになられる時、割引あり 3) 参照

### 2) SPAR2025J 第21回3次元計測フォーラム出展スポンサー

(1) 開催日：2025年10月28日(火)、29日(水)、30日(木) 3日間

(2) 場所：大田区産業プラザ(PiO) 京急蒲田駅前 4F コンベンションホール

(3) 時間：28日(火) 9:00-, 機材搬入とブース設営、10:30 展示開始～19:00 展示終了

29日(水) 9:00～19:00 展示

30日(木) 9:00～15:30 展示終了、撤収

28日(火) 29(水) 両日とも、17:30-19:00 展示室内で交流会実施

(4) 展示スペース 3m x 3m

(5) 出展費 定価 50万円 (参考、昨年まで2日間で定価40万円)

(6) フォーラム参加 出展社3名様無料、顧客5名様無料招待。追加は半額の1万円

(7) フォーラム参加 (有料¥20,000) 事前登録制

### 3) 参加パターンと割引

SPAR2025Jへのスポンサー参加形態

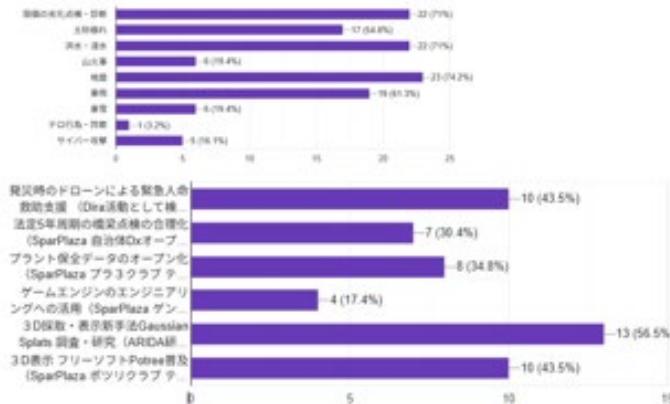
パターン	法人会員 定価 20万円	出展スポンサー 定価 50万円	合計金額
パターンA 法人会員のみ	<input type="radio"/> (20万円)	X	20万円
パターンB 出展スポンサーのみ	X	<input type="radio"/> (50万円)	50万円
パターンC1 法人会員 6/Eまでに申込	<input type="radio"/> (20万円)	<input type="radio"/> (30万円)	50万円
パターンC2 法人会員 7月移行に申込	<input type="radio"/> (20万円)	<input type="radio"/> (40万円)	60万円

SPARJ会 法人会員 さまざまな特典あり、早めのお申込みをお薦めします。

## 2. SparPlaza 防災アンケート（その2）

前回の一部の皆さんからのコメントを掲載し、テーマのさらなる具体化と意見交換の輪を広げるべく（その2）をお届けします。設備点検・事故発生防止など、いかに防災の範囲が広いか、喫緊の課題が多いか、また3次元計測と応用の機会が高まるか、認識が広がってきました。アンケートにご参加ください。

<https://forms.gle/qb5WjvQiRrMDvcocA>



## 3. SPARJ と 3 DST 戦略提携

先週 SPARJ（代表：河村幸二）と 3 DST(一般社団法人三次元スキャンテクノロジー協会 代表：青柳祐司)が会合し、お互いの人脈ネットワークを広げ、会員による交流およびビジネスチャンスを広げる戦略連携を発表した。



3 DST 主催 6月開催 3 D トレンドセミナー“朝まで生スキャン”参加受付中！

今回のテーマは、“control リサーチレポート”です。



毎年恒例になっています“control リサーチレポート”。

新製品、新技術情報を盛りだくさんでお送りしたいと思います。

また、精密測定機器だけに留まらず、電気通信大学の増田教授をお迎えし、 土木・建築で多く使われる大規模点群処理についての応用事例および 今後の展望について、講演いただきます。

セミナー終了後には、技術交流会もありますので、ぜひ会場で聴講ください！

タイトル：3 DST トレンドセミナー 朝まで生スキャン！

テーマ : control リサーチレポート

日程 : 2025年6月6日（金）

13:30～15:30 (トレンドセミナー)

15:30～17:30 (技術交流会)

場所 : 新横浜（加瀬倉庫新横浜ホール 第1会議室）

<https://kaigi.kasegroup.co.jp/build/c0008470.php>

申込はこちら→

<https://3dst.org/seminar/3dsttrend-seminar-asamade/seminarstyle/>

技術交流会では、3DST理事による無料相談会も実施します！  
製造業、土木・建築、エンターテインメント、様々なご相談をお受け致します。

上司や同僚をお誘い合わせ、是非会場にお越しいただければと思います。  
皆様からの多くのご視聴、お待ちしております！

---

#### 4. (一社) 日本写真測量学会 講習会案内

SPARJ発足以来、活動連携を深めてきている標記学会、恒例の講習会を開催されます。  
<2025年度 講習会のご案内 (SLAM講習会／UAVレーザ&写真測量講習会) >

2025(令和7)年度も、日本写真測量学会では  
7月と9月の計2回、講習会を企画いたしました。

①7/4(金) 開催 【手持ちレーザスキャナ(SLAM)講習会・実習付き】

②9/18(木)～19(金) 開催 【UAVレーザ&写真測量講習会～2日間・UAVデータ取得から解析までの実習付き～】

日時やプログラムなど、以下に抜粋してご案内いたします。

ホームページにも掲載させて頂いておりますので是非ご覧ください。

参加お申込みにつきましては、HPにアップしてあるお申込書に記入のうえ、  
事務局までご連絡ください。

<http://www.jsprs.jp/> (最新ニュースの一番上の2/10の記事が講習会関連です)

たくさんの皆様のご参加を、心よりお待ちいたしております。

---

#### 【①手持ちレーザスキャナ(SLAM) 講習会・実習付き】(測量CPD対象)

##### 1. 講習会の趣旨(抜粋)

講習内容は、最初に SLAM 技術の概要や原理について分かりやすく解説した後、  
最新機器(4機)を用いて、参加者全員に室内や屋外を実測していただきます。  
その後、取得したデータを解析しながら、上手くいく場合とそうでない場合について原因を討論し、  
各機器の特徴、精度確保および利用のポイントなどを解説します。  
手持ちレーザスキャナや SLAM 技術に興味のある方、実際の業務で活用したい方々には、  
この講習会にて各機種の使い方や比較が体験でき、専門家からのノウハウを聞ける絶好の機会ですので、  
みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

##### 2. 開催日時

- \* 日時：2025年7月4日(金) 13:00～17:30(12:30受付開始)
- \* 場所：東京大学生産技術研究所 An棟 3階 大会議室(An301,302)  
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
- アクセス：<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>

\* 定員：30名（先着順・定員に達し次第締め切ります）

### 3. プログラム

12:30～	集合・受付
13:00～13:10	開会の挨拶、講師紹介
13:10～14:00	SLAM の基礎知識、原理
14:00～14:40	使用する機器の特徴
14:40～16:00	データ取得
16:00～17:00	データ解析、計測結果の解説、応用例のご紹介
17:00～17:30	まとめ、質疑応答および閉会

4. 参加費： 正会員 20,000 円／学生会員 10,000 円（消費税込）

5. 技術協力： 今回は下記 4 社に機器のご提供をいただく予定です。

株式会社トプコン、ファロージャパン株式会社、株式会社 CHC NAVIGATION JAPAN、  
コンピュータ・システム株式会社

その他、持ち物や詳細は HP <http://www.jsprs.jp/> をご覧ください。

---

### 【②UAV レーザ&写真測量講習会～2日間・ UAV データ取得～解析までの実習付き】(測量 CPD 対象)

#### 1. 講習会の趣旨（抜粋）

講習内容は、1日目に「写真測量と SfM」の講義のあと、  
最新の UAV を用いて飛行計画の作成からデモ・フライトを行います。

2日目の写真測量は、SfM ソフトウェアを用いて、空中三角測量、品質管理、3D モデル作成までの流れを実習し、レーザ測量では、異なるタイプの点群データ比較を体験できる実践的な構成になっています。

UAV 写真測量は、SfM ソフトとして、Bentley 社の iTwinCaptureModeler を用いて  
詳細な 3D モデル作成と AI によるクラス分けなどを実習します。

特に iTwinCapture は、構造物などのエッジ部分がリアルに 3D モデル化できる特徴があり、  
他社ソフトと 3D モデルの品質を比較できます。

UAV レーザ測量は、システムの選択肢が増えてきた現状において、自社に最適なシステムは  
どれなのか？

原理・運用面のポイントを概説し、現地飛行サイトの計測データを使って、ハイエンドモデル  
からエントリーモデルまで各点群データの特性について実習します。

講習会後には、参加者のご質問や情報交換などの場として、トレーニングセンタ内にて懇親会を行います。

これから UAV 測量を導入したい方やレーザ測量と写真測量技術の違いを体験したい方など、  
皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

#### 2. 開催日時

\* 日程：2025 年 9 月 18 日（木）、19 日（金）の 2 日間

\* 場所：(株)トプコンソキアポジショニングジャパン 白河トレーニングセンタ

〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上野原 459 番地 26

\* アクセス 車の場合：東北自動車道「白河 IC」から約 5 分

電車の場合：東北新幹線「新白河駅」からタクシーで約 10 分

\* 定員：30 名（先着順・定員に達し次第締め切ります）

### 3. プログラム（予定）

●第 1 日目：9月 18 日（木）（13:30～18:30）

13:00～ 現地集合・受付

13:30～13:40 開会の挨拶、講師紹介

13:40～14:40 写真測量と SfM

14:40～15:30 UAV 測量概要、ガイダンス、安全講習

15:30～17:30 UAV デモ（飛行計画の作成、標定点設置、UAV データ収集）

17:30～17:50 質疑応答

17:50～18:30 懇親会（トレーニングセンタ内）

●第 2 日目：9月 19 日（金）（9:00～16:30）

8:30～ 現地集合

9:00～12:00 UAV 写真測量 SfM 実習

12:00～13:00 休憩・昼食

13:00～16:00 UAV レーザ測量 点群データ実習

16:00～16:30 質疑応答

### 4. 参加費：40,000 円（正会員・学生会員とともに／消費税込）

※1 日目講習会後の懇親会費 および 2 日目の昼食費を含みます。

※会場までの交通費および宿泊費は含みません。各自でホテルの予約をお願いします。（当会からホテル紹介可能）

◆技術協力：今回は下記 3 社に機器・ソフトウェア、データのご提供をいただく予定です。

RIEGL VUX コンソーシアム、金井度量衡株式会社、株式会社コバコン

その他、持ち物や詳細は HP をご覧ください。

\*\*\*\*\*

一般社団法人日本写真測量学会

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-5-1

パークコート文京小石川 ザ タワー 5 階

電話：03-5840-6606 / Fax：03-5840-6616

E-mail：[office-jprs@jprs.jp](mailto:office-jprs@jprs.jp)（事務局）

\*\*\*\*\*

### 5. (一社) 無人機事故調査研究会 Dira

Drone Incident Research Association

2025 年 5 月 15 日に役員総会が開かれ、本多会長が千葉大学を退官される

のを機に役員の交替が決定され、新社長に 泉 岳樹氏（都立大）が就任した。

**DIRA**  
Drone Incident Research Association

また、宇佐美昌樹氏が役員に加わり、専門分野の AI 技術で事業運営を強化していくことが確認された。

---

## 6. SparView 配信から主テーマリスト

3 次元計測およびドローンに関する世界のニュースの要約を毎週お送りする SPARJ 会の方へのメルマガです。大学および公共機関の方は、無料です。  
会員登録は、河村 [koji@sparj.com](mailto:koji@sparj.com) までメールください。

### SparView Vol.23 No18

- 1) 地中レーダー(GPR:Ground Penetration Rader)の大きな進歩 車牽引可能に、
- 2) 最先端技術の導入 欠点も理解しておくように、
- 3) デジタルツイン 導入失敗して当然、失敗から貴重な経験・知見が、
- 4) テクノロジー融合 データの標準化が必須、
- 5) 電波攻防は、ついに個々の兵士レベルにまで及ぶようになってきた、
- 6) ドローン運用に AI が役立つには、まだ相当先になるのでは、Juan Plaza (付録)

### SparView Vol.23 No19

- 1) 建設業界の IT による変革、データのオープン化によるシステム連携、日本でも訳者は実感している。  
訳者の出身である、プラント業界は、どうであろうか？？？
- 2) Google と NVIDIA が地図に参入、業界地図変わりそう、
- 3) この業界での AI の役割、一時期停滞気味だったのが、ますます大きく。
- 4) AI での業務効率化で環境負荷も低下できるはずであったのが、電気使用急増で脱炭素逆行、皮肉なり。  
問題解決には、核融合と量子コンピュータ普及を待たざるをえないのか？

---

< スポンサー広告 >

7月より掲載開始予定

以上